

日電協 29 技基第 331 号

平成 29 年 12 月 12 日

「JEAC 4111-2013 原子力安全のためのマネジメントシステム規程」

平成 29 年度コースⅢ講習会の開催について

(一社) 日本電気協会

原子力規格委員会

品質保証分科会

日本電気協会 原子力規格委員会 品質保証分科会では、原子力安全のための活動を実施する際の要求事項に加えて、東京電力（株）福島第一原子力発電所事故を踏まえ、国際標準を参照し、事業者の行う原子力安全の達成・維持・向上をより強固にするための活動に必要な事項である「JEAC 4111-2013 原子力安全のためのマネジメントシステム規程」に関して、平成 29 年度コースⅢ講習会を、平成 30 年 1 月 30 日～31 日に開催します。

コースⅢ講習会は、事業者品質保証部門の専門家及びメーカー原子力品質保証の専門家を対象に、事例の演習をとおして、JEAC 4111-2013 に基づく安全のためのマネジメントシステムの要求事項及び JEAG 4121-2015 附属書-1「品質マネジメントシステムに関する標準品質保証仕様書」に基づく供給者に対する品質マネジメントシステム、安全文化醸成活動等の要求事項を的確にとらえ、改善するための応用力を学ぶことを目的とした講習です。

また、今回の講習会では、中條 武志氏（品質保証分科会長/中央大学 理工学部 教授）による基調講演「品質マネジメントシステムの確立・運用を通じた業務の質の保証と安全の確保」を予定しています。今回のコースⅢの講義では、「監査とアセスメント」について説明します。

添付する『「JEAC 4111-2013 原子力安全のためのマネジメントシステム規程」平成 29 年度コースⅢ講習会開催案内』をご確認いただき、この機会にぜひ受講されますようご案内します。

「JEAC 4111-2013 原子力安全のためのマネジメントシステム規程」

平成 29 年度コースⅢ講習会開催案内

日 程：初 日 平成 30 年 1 月 30 日（火）13:00～18:00
 二日目 平成 30 年 1 月 31 日（水） 9:00～17:00

場 所：日本電気協会 会議室
 （東京都千代田区有楽町 1-7-1 有楽町電気ビル 北館 4 階）
 ・ JR 有楽町駅：日比谷口から徒歩 1 分
 ・ 東京メトロ 日比谷線・千代田線・都営三田線：日比谷駅から徒歩 2 分
 ・ 東京メトロ 有楽町線：有楽町駅から徒歩 2 分

定 員：36 名

対 象：事業者品質保証部門の専門家及びメーカー原子力品質保証の専門家
 （原則コースⅡの内容の理解を前提として実施します。）

内 容：JEAC 4111 に係る講習内容を、マネジメントシステムの段階と関連付けし、次表に示すⅠ～Ⅳのコースに分類して、今回はコースⅢの内容で講習を実施します。

| コース | 講習内容 | 範 囲 |
|-----|--|------------|
| Ⅰ | JEAC 4111 に基づく安全のためのマネジメントシステムの運用に初めて関わる方を対象として、JEAC 4111 策定の基本となっている ISO 9001 とは何かを理解する。 注：一般 ISO 9001 研修機関のカリキュラムによる。 （研修機関開催コース 例：ISO 9001 規格入門コース，ISO 9001 規格解説コース，ISO 9001 要求事項解釈コースなど） | 電気協会の募集範囲外 |
| Ⅱ | JEAC 4111 に従って構築された安全のためのマネジメントシステムに基づき業務を行う方，現場で運転管理，保守管理等の業務に従事される方を対象として，解説する。 本コースにおける要求事項の解説では，ISO 9001 要求事項の理解を前提として実施するため，コースⅠに示すような，一般 ISO 9001 研修機関の講習を修了している事が望ましい。 | 今回の募集範囲外 |
| ⇒ Ⅲ | JEAC 4111 に基づく安全のためのマネジメントシステム上の問題点を的確にとらえ改善のための応用力を，演習を通して学ぶ。 本コースはコースⅡの内容の理解を前提として実施するため，原則コースⅡを修了している事が望ましい。 | 今回の募集範囲 |
| Ⅳ | JEAC 4111 に対する具体的な取り組みなどの紹介を通して，安全のためのマネジメントシステムの展開を効果的に行うための理解を深める。 | 今回の募集範囲外 |

受講料：28,000 円（税込み）

申込〆切：平成 30 年 1 月 23 日（火）

受講料振込期限：平成 30 年 1 月 24 日（水）

申込方法：一般社団法人日本電気協会の次のホームページより申込み手続きを行ってください。

[<http://www.denki.or.jp/seminar/>]

お申し込み後、自動返信メールで受講票をお送り致しますので当日はそちらをプリントアウトしてご持参下さい。後日、所定の口座へお振込みをお願いします。

なお、お申し込みいただきましても、申込人数が定員を超えた場合など、調整をお願いすることがありますので、あらかじめご了承ください。

その他：昼食はご用意していませんので、各自でお願いします。

なお、会場内での飲食は可能です。

配付資料：講習会用テキスト（資料には、JEAC 4111-2013 及び JEAG 4121-2015 は含みません。講習会はテキストに沿って進めますが、参考用に可能な方は JEAC 4111 及び JEAG 4121 をご持参いただくようお願いします。）

事前配付：受講申込者には、以下の資料を電子ファイルにて事前にお送りします。

（電子メールで発送しますので、申込書に電子メールアドレスを必ず記載して下さい。）

- ① 演習 1 テキスト（品質保証計画書），及び演習 1 まとめ票
- ② 演習 1 「品質保証計画書」審査に関する注意事項及び適用条件
- ③ 演習 2 テキスト（時系列表），及び演習 2 まとめ票
- ④ 演習 2 「不適合事象」に関する注意事項及び適用条件

事前学習：受講申込者は、事前に演習 1 及び演習 2 を学習していただきます。

適用条件を参考にまとめ票をそれぞれ作成し、下記質問先アドレスへ 1 月 26 日(金)までにご提出下さい。Excel のワークシート形式で提出。

演習 1 の学習では JEAG 4121-2015 附属書-1「品質マネジメントシステムに関する標準品質保証仕様書」，演習 2 の学習では JEAC 4111-2013「原子力安全のためのマネジメントシステム規程」を確認して下さい。講習会当日は事前学習に基づき、6 名程度のグループに分かれて討議いただきます。

なお、当日は事前配付資料を必ずご持参下さい。

事前質問：マネジメントシステムに関する問題点などの質問事項（保安検査対応などにおいて規格解釈上で疑問に思ったことなど、何でも結構です）を、質問記入シート（別添 Excel ファイル参照）にご記入の上、平成 30 年 1 月 23 日（火）までに下記質問先アドレスへご提出下さい。質問事項に関する解説を、講習会の事前質問回答の時間に行います。

なお、主要なご質問については、後日原子力規格委員会のホームページに回答を掲載し、JEAC 4111, JEAG 4121 改定時の参考にもさせていただく予定です。

質 問 先：jeac4111-q@denki.or.jp（申込先アドレスとは異なります。）

問合せ先：一般社団法人 日本電気協会 事業推進部 JEAC4111 講習会 担当
電話 03-3216-0556 [9:00～17:00（土、日、祝日を除く）] FAX 03-3216-3997
〒100-0006 東京都千代田区有楽町 1-7-1 有楽町電気ビル 北館 4 階

添付資料：

- ・「JEAC 4111-2013 原子力安全のためのマネジメントシステム規程」平成29年度コース
Ⅲ講習会 プログラム
(プログラム内容は予定であり、変更になる可能性があります。)

別添資料：

- ・質問記入シート

「JEAC4111-2013 原子力安全のためのマネジメントシステム規程」
平成 29 年度コースⅢ講習会 プログラム

初日：平成 30 年 1 月 30 日（火），二日目：1 月 31 日（水）

於：日本電気協会 4 階 会議室

（一社）日本電気協会 原子力規格委員会 品質保証分科会

| | |
|----------------|---|
| 初日：13:00～18:00 | |
| 13:00～ | 事務連絡 |
| 13:05～ | 開講挨拶 |
| 13:10～ | 【基調講演】 【70分】 「品質マネジメントシステムの確立・運用を通じた業務の質の保証と安全の確保」 講師：中條 武志 氏 (品質保証分科会長／ 中央大学 理工学部 教授) |
| 14:20～ | 【講義】 【60分】 「監査とアセスメント」 講師：渡邊 邦道 氏 (品質保証分科会副分科会長兼幹事／ 一般社団法人 原子力安全推進協会 安全システム本部 システム基盤部 安全マネジメントグループ テクニカルアドバイザー) |
| 15:20～ | 休 憩 |
| 15:40～ | 演習 1:「品質保証計画書」の審査【140分】 グループ討議 |
| (終了予定時間 18:00) | |

| | |
|----------------|--|
| 二日目：9:00～17:00 | |
| 9:00～ | 事務連絡 |
| 9:05～ | 演習 1（続き） 【80分】 グループ別発表及びディスカッション |
| 10:25～ | グループ内確認 |
| 10:35～ | 休 憩 |
| 11:00～ | 演習 2:「不適合事象」の問題点把握 【60分】 グループ討議（まとめ方の説明含む） |
| 12:00～ | 昼休憩 |
| 13:00～ | 演習 2（続き） 【120分】 グループ討議 |
| 15:00～ | 休 憩 |
| 15:20～ | 演習 2（続き） 【50分】 グループ別発表及びディスカッション |
| 16:10～ | グループ内確認 |
| 16:20～ | 事前質問回答, 総括, アンケート 【40分】 |
| (終了予定時間 17:00) | |

(注) プログラム内容は予定であり変更になる可能性があります。